

野女ヤスカラ (1955)

SOMBRA VERDE

メディア 映画

ジャンル

製作国 メキシコ

色彩 B&W

初公開日 1955/09/17

公開情報 ワールド商事＝昭映

【解説】

ハリウッドで活躍していたR・モンタルバンが故国メキシコに帰っての第一作。薬草を求めて密林の奥深く分け入った化学者。そこは土地の人間すら恐れて近寄らない秘境で、高額報酬で釣って案内させた男も道に迷い、怪我から死亡。一人取り残された彼は更なる彷徨の果て、川にかかる橋を見つけ、その先に人の棲む気配を察するが、現れた土地の主に撃たれ川に落ちる。しかし、流された彼を救う者があった。それは地主の娘ヤスカラで、過去に犯した罪を逃れ、隠れ住む父と共にこの秘境に暮らしていた。野性味溢れる少女の虜になった彼を父は憎み対立するが、やがて彼を探す捜索隊が現われ、観念した父も投降。妻子のある彼だがヤスカラとの再会を約束し、町へと帰って行った……。ラテン的な大雑把な展開に吹き出してしまう箇所もあるが、娘とリカルドが水浴する場面（豊満な娘の乳首がブラウス越しにくっきり）など、おおらかなエロチシズムが漂ってなかなか。

【クレジット】

監督	ロベルト・ガヴァルドン	Roberto Gavaldon
脚本	ロベルト・ガヴァルドン	Roberto Gavaldon
	ルイス・アルコリサ	Luis Alcoriza
撮影	アレックス・フィリップス	Alex Philips
出演	リカルド・モンタルバン	Ricardo Montalban
	アリアドナ・ウェルテル	Ariadna Welter